



### 三方原台地東縁の谷間に残る積石塚

三方原台地東縁には、多くの古墳が確認されています。大半は盛土の古墳ですが、浜名区染地台付近では、積石塚（石で築かれた古墳）が集中的に確認されています。

「二本ヶ谷積石塚群」と名づけられているこの古墳群では、その名の通り二つの谷に積石塚が分布しており、東谷に二二基、西谷に六基が確認されています。築造時期は五世紀中葉～六世紀前葉で、五世紀後葉に集中しています。河原石を積み上げて築かれた墳丘は方墳が多く、一辺数メートル



二本ヶ谷積石塚群 東谷2号墳

と小型です。埋葬施設は竪穴系で、側面に粘土や石を配するものがあります。

同時期の盛土古墳が、台地や段丘上の高い位置に立地し、円墳や前方後円墳が多いこと比べると、この積石塚の墳丘構造や立地環境は極めて特異です。

積石塚は、朝鮮半島に多くみられる墓制です。国内では群馬県や長野県などで多く確認されており、その中には朝鮮半島産の出土遺物を伴う例もあることから、渡来してきた人々の墓と考えられています。

五世紀は、朝鮮半島との往来が盛んになり、須恵器や金属器の生産、乗馬などさまざまな文化や技術がもたらされた時期です。前述の群馬県や長野県の遺跡の様相からは、渡来してきた人々が馬の生産に関与していたことが明らかとなっています。

二本ヶ谷積石塚群では、朝鮮半島に起源を有し、五世紀に伝えられた提げ砥（携帯用砥石）が出土しているものの、明確な朝鮮半島産の遺物は確認できず、周辺に渡来人の活動を直接的に示す遺跡も確認されていません。しかし、朝鮮半島産の遺物を出土する国内他地域の積石塚と構造・立地が

類似することから、何らかの文化や技術を携えて渡来し、当地域に伝えていた人々の墓である可能性は高いと考えられます。

二本ヶ谷積石塚群が築かれた谷と隣接した丘陵上に目を向けると、盛土の古墳群である辺田平古墳群が築かれています。

辺田平古墳群では、従来の当地域にみられる、木棺を直接埋めた埋葬施設古墳が五世紀中葉から築かれています。しかし、二本ヶ谷積石塚群の築造が停止する六世紀前葉になると、辺田平古墳群の中に突如として積石塚が現れ、それを境として円礫を多用した当地域で系譜を辿れない埋葬施設古墳が築かれ始めます。

こうした状況は、積石塚に葬られた人々の次の世代が、従来の当地域の墓制である盛土の墳丘や丘陵上への立地を取り入れた可能性を示すものであり、古墳時代における渡来系集団の地域への融合過程を考える上で興味深い事例といえます。

なお、二本ヶ谷積石塚群の一部は保存整備が行われた後、静岡県指定史跡となり、「つみいしづか広場」として公開されています。ぜひ足を運んでみてください。

## 三角縁神獣鏡



縁の断面が三角形で、神仙と霊獣の文様が配されていることが名称の由来となっている銅鏡です。古墳時代前期の3世紀中ごろから4世紀代の、東北から九州にかけての有力首長墓から副葬品として出土します。市内では赤門上古墳出土の本例が唯一のものです。

三角縁神獣鏡は、ヤマト政権が政治的連携の証として、各地の有力首長に配布したと考えられており、赤門上古墳の被葬者は、天竜川西岸地域一帯を治めながら、当時の政治的中枢と強い関係性を有していた人物であったことがうかがえます。

古墳時代の銅鏡には、中国で製作されたといわれる精巧なものと、それを模倣して国内で製作されたといわれるものがありますが、三角縁神獣鏡は中国で発見例がないことから製作地が不明であり、主に2つの説があります。ひとつは、中国で作られたものが渡来し、後に国内で模倣されたという説です（「魏志倭人伝」に記されている、卑弥呼が魏の皇帝から賜った鏡とする説もあります）。もう一つは、中国から渡来した工人により国内で製作され、後に国内の工人により模倣されたという説です。

他の中国鏡よりやや大型で、同範鏡や副葬方法など謎の多い三角縁神獣鏡ですが、当時の政治や社会の構造を探る上で重要な考古資料として、原材料の理化学的分析など多角的な調査研究が進められています。

## 催し物のご案内

### ★テーマ展「天竜川西岸の古墳時代」

6月22日(土)～9月16日(月)

天竜川西岸の古墳や遺跡の出土品を展示しながら、当時の地域社会や文化について紹介します。

#### 【関連事業】

##### ・ギャラリートーク

日時 6/22(土)、7/21(日) 10:30～11:00

##### ・第9回はまはく講座

「浜松の古墳時代 ～天竜川西岸域を中心に～」

日時 8月4日(日) 10:00～12:00

定員 50人(要申込、抽選)

##### ・ミニシンポジウム

「天竜川西岸の古墳×浜名湖北岸の古墳」

日時 8月31日(土) 10:00～12:00

定員 50人(要申込、抽選)

##### ・現地見学会「内野古墳群をめぐる」

日時 9月14日(土) 10:30～12:30

定員 30人(要申込、抽選)

### ★小展示「市民ミュージアム浜北巡回展」

5月23日(木)～9月23日(月)

改修工事のため休館している市民ミュージアム浜北の所蔵資料を、浜松市博物館を皮切りに巡回展示します。

### ★第8回はまはく講座

「近世の有玉 ー高林家とその周辺ー」

7月27日(土) 13:30～15:00

会場 東行政センター 定員 25人(要申込、抽選)

### ★社会科自由研究アドバイスツアー

8月3日(土)・4日(日) 10:00～

### ★夏休み体験館

8月10日(土)～18日(日)

ミニ三角縁神獣鏡や勾玉づくりなど日替わりで開催

### ★かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし

7/13(土)、8/10(土) 14:00～14:30

会場 旧高山家住宅(蛸塚公園内)

### ★観覧無料日

7/1(月)市制記念日、8/21(水)県民の日

※8/21 蛸塚遺跡ガイドツアー 10:00～11:00

※各事業の詳細は、HP や SNS でご確認ください。  
※イベントは、変更、中止になる場合があります。

左から  
ホームページ  
X(旧ツイッター)  
インスタグラム



浜松市博物館

開館時間：9時～17時

6月～8月の休館日：6/17,24,26 7/8,16,22,29 8/5,19,26

〒432-8018 浜松市中央区蛸塚四丁目22番1号

電話：053-456-2208 FAX：053-456-2275

Eメール：hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

HP：https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/